

「岡山型学習指導のスタンダード」と「家庭学習のスタンダード」を生かす学習指導の在り方

伊里中学校学力向上研究会

活動の目的

学力向上の両輪である授業と家庭学習の充実のため、「岡山型学習指導のスタンダード」「家庭学習のスタンダード」を活用し、授業改善と家庭学習の充実に取り組む。また、小中一貫教育校「伊里学園」として小中一貫カリキュラムを作成する。

活動の内容及び経過

「岡山型学習指導のスタンダード」の「授業5」について、アンケートで実施状況を調査した。その結果、概ね「授業5」を実施できていたが、まとめ、振り返り、板書の構造化、ノート指導、授業と家庭学習と連携に課題があることが分かった。そこで、全教員が課題を意識して授業を行うと共に、毎週木曜日に来校する授業改革推進員が全教員の授業を参観し、協議を通じて改善を進めることにした。また、全員が行う公開授業では「表現力の育成」をテーマに、一人一提案をすることとした。国語、数学、英語の授業は、小中全教員による合同授業研究を行った。

家庭学習については、自主学習ノートを取り組みの中心とした。1日1ページ以上取り組むこととし、60ページのB5判ノートを一人6冊ずつ購入させた。各学年の担任外教員が毎日チェックして評価すると共に、内容が充実したノートのコピーを校長室前に掲示した。目標を持って計画的に家庭学習に取り組めるよう、学校オリジナルの生活記録用紙も作成した。

小中一貫カリキュラムについては、今年度、社会、理科、英語、保体で作成した。

活動の成果・効果

授業改革推進員による授業指導は、1年間を通して若手教員は7回、他の教員は3～5回積み重ねた。「授業5」を基に授業するのが当然になった。事後の実施状況アンケートでは、振り返りが約80%、板書の構造化が約86%の授業で行われるようになるなど、大きく改善した。ノート指導、授業と家庭学習と連携については、意識できた授業がそれぞれ約50%、約60%と横ばいだったが、強く意識して指導する授業が約10ポイントずつ上昇した。

授業研究会はどの授業も充実した。特に小学校との合同授業研究は、それぞれの視点で意見交換でき、刺激になった。また、国語で行ったジグソー学習を社会で実施するなど、「型」の提示、グループ分けの工夫、ワークシートの工夫など、他教科の授業を参考にして次の授業提案が行われることが増えた。

自主学習ノートには多くの生徒が毎日意欲的に取り組ん



だ。6冊のノートをやり終えることを目標に毎日数ページずつ頑張る生徒もいた。校長室前にコピーが掲示されることを目指す生徒もいた。何よりもテスト前に自主学習ノートに学習のまとめをし、テスト勉強に役立てる生徒が増えてきたのは何よりであった。

小中一貫カリキュラムの作成は、カリキュラム自体に意味があるが、生徒を9年間で育てる意識の醸成にも役立った。授業で「小学校で〇〇を習ったね」と問い掛けたり、小学校の学習を基に授業を導入したり、小学校との違いを意識させて授業を深めたりすることも増えた。

今後の課題と問題点

今年度、表現力の育成を目指し、多くの授業でグループ学習やペア学習が行われるようになった。これらの取り組みを「協働的な学習」として学校全体で取り組み、生徒の学習の充実、表現力の育成、学力の向上に繋げていきたい。

自主学習ノートについては、自分の学習に生かすべく意欲的に取り組む生徒が多い反面、自主的に取り組めず、内容が薄い生徒も少なからずいる。生徒が将来の目標を持ち、その実現に向かって主体的に取り組めるよう指導の工夫が必要である。

- 代表者：金光一雄 ●所在地：備前市麻字那
- TEL：0869-67-0334 ●E-MAIL：bziri.jhs@city.bizen.lg.jp
- URL：http://www.edu.city.bizen.okayama.jp/iri-jhs/
- 設立年：2015年 ●メンバー数：16名